

ISO 9001:2000 又は ISO 14001:2004
の認証取得を組織の内外に公表する
際の参考文書の公開について



ISO

ISO（国際標準化機構）は、品質及び環境マネジメント規格である ISO 9000 及び ISO 14000 ファミリー規格並びに 14000 件を超える国際規格の作成者であり、これらは、事業者、政府及び社会が利用できる規格です。ISO は、他の国際組織、政府、産業界、事業者及び消費者の代表と提携して作業する 148 か国の各国標準化機関のネットワークです。



ISO 中央事務局

Case postale 56
CH-1211 ジュネーブ 20
スイス

Tel. + 41 22 749 01 11
Fax + 41 22 733 34 30
E-mail central@iso.org
Web www.iso.org

ISBN 92-67-10400-4

©ISO , 2004

スイスで印刷

2004-12

はじめに

この文書の目的は？

あなたの組織は、ISO 9001:2000 又は ISO 14001:2004 の認証を取得したことを誇りに思い、その成功を市場に伝えたいとお考えになることでしょう。この ISO 指針は、組織がその社員/職員、顧客、事業パートナーなどの利害関係者や社会全般に対して認証の取得を公表し、伝え、宣伝する際の模範例として役立つことと思います。

この指針は、新聞発表、広告、販売促進用パンフレット、ビデオ、社員/職員への発表、ロゴ、スローガン、キャッチフレーズなどの宣伝材料や広報材料を、印刷物や放送からインターネット及びマルチメディアまで、さらには製品ラベル、標識、社旗、保有車両などに至る多種多様な媒体を用いて作成する際に役立つでしょう。

*私の組織がこの指針を実施したら、どう
いうことになるのでしょうか？*

この指針を使うことによって、ISO 9001:2000 や ISO 14001:2004 の認証取得を公表する際に、誤った、誤解を生むような紛らわしい表現に陥る危険を避け、組織の信用が損なわれるのを避けることができるでしょう。この指針に従えば、あなたの組織は、認証取得事実を市場に伝える場合にも、ISO 9001:2000 品質マネジメントシステム又は ISO 14001:2004 環境マネジメントシステムを実施したときと同じ自らの厳格さを保っていることを示すことができます。

この指針は誰にとって有用な文書でしょうか？

この指針は次のような広範囲の潜在的な利用者のニーズを対象としています。

トップマネジメント；

品質責任者及び環境責任者；

広報部門、マーケティング部門及び広告部門。これらのサービスを提供するのであれば組織の内部及び外部の委託先が共に該当；

グラフィックデザイナー；

出版社及び記者；

認定機関及び審査登録機関、並びにマネジメントシステムのコンサルタント（それぞれのサービスの受領者にこの指針を伝えることを推奨します）；

認証された組織の顧客；

認証された組織が最善の業務運営を行っているか監視したいと考える消費者団体；

関連情報の提供を受けている一般の人；

どのように使えばよいのでしょうか？

時間の余裕、関心の強さ又は理解の必要性に応じて、次の三つの選択肢があります。

1. “要約”の部分だけを読むという選択をした場合でも、何をすべきで何をしてはいけないかがわかりますし、簡潔な助言も得られます。ただし、説明は省いています。
2. “要約”を読んだ後、“お忘れなく！”という言葉で始まるイタリック（斜字体）の箇条書きを読んでください。これで最小限の説明が得られます。
3. この指針の背景となった理由を理解したい場合、又はこの指針を誰か他の人に説明する必要がある場合には、文書全体を読んでください。

要約

ISO のロゴは使わないでください。

ISO のロゴを自分の用途に合わせて改変しないでください。

審査登録機関のロゴを使いたい場合には、審査登録機関に使用の許可を依頼してください。

あなたの組織が ISO 9001:2000 に認証されている場合、(“ ISO 9001 ” だけでなく) その番号全体 (ISO 9001:2000) を使ってください。

あなたの組織が ISO 14001:2004 に認証されている場合、(“ ISO 14001 ” だけでなく) その番号全体 (ISO 14001:2004) を使ってください。

“ ISO 9000 の認証 ” や “ ISO 14000 の認証 ” という包括的な用語をやめて、“ ISO 9001:2000 の認証 ” や “ ISO 14001:2004 の認証 ” という限定的な用語に変えてください。

ISO 9001:2000 や ISO 14001:2004 の場合、“ 認証された ” (及び “ 認証 ”) と、“ 審査登録された ” (及び “ 審査登録 ”) とは同等の意味であり、どちらを使ってもかまいません。

あなたの組織が “ 認定された ” とは言わないでください。

“ ISO の認証を受けた ” や “ ISO の認証 ” を使わないでください。

その代わりに “ ISO 9001:2000 の認証を受けた ”、“ ISO 9001:2000 の認証 ”、“ ISO 14001:2004 の認証を受けた ”、又は “ ISO 14001:2004 の認証 ” を使ってください。

ISO 9001:2000 や ISO 14001:2004 への適合性を示す認証マークを、製品、製品ラベル若しくは製品包装の上に、又は製品の適合性を示すと解釈されるような方法によっても、表示しないでください。

どんな状況でも、ISO 9001:2000 や ISO 14001:2004 の認証が製品の認証や製品の保証であるという印象を与えないようにしてください。

広告など製品に関連する情報に ISO 9001:2000 や ISO 14001:2004 の認証の引用を含める場合、それらの認証が製品の認証や製品の保証であると解釈されるような方法で行ってはいけません。

あなたの組織の ISO 9001:2000 や ISO 14001:2004 の認証の適用範囲 (対象範囲) に関して、その認証が対象とする活動及び地理的所在地の両方共に、正確で厳密でなければなりません。

ISO のロゴ

認証を取得すると、多くの組織が ISO に“ISO 9001:2000 のロゴ”又は“ISO 14001:2004 のロゴ”の使用を要望します。ところが ISO にそのようなロゴは存在しません。ISO 自体のロゴがあるだけで、それは登録商標です。ISO の許可がなければ、そのロゴの使用は禁止されています。ISO は、マネジメントシステムの認証が ISO 9001:2000 や ISO 14001:2004 への適合性を証明するものであったとしても、ISO のロゴがそれらの認証に関連して使用されることを許してはいません。ISO のロゴは、例えば、製品、製品ラベル、製品に関連した情報、ウェブサイト、販売促進用資料、広告、会社のレターヘッドなどには使えません。

ISO ロゴの使用を許せば、ISO が認証活動を行っている、又はそのロゴを使用している組織を承認又は許可したという誤った印象を与えるでしょう。これらの活動は、ISO の事業内容ではありません。



ISO は、マネジメントシステム、製品、サービス、材料又は要員を監査、審査、登録又は認証することなく、他の団体が実施するそのような活動を承認したり、管理したりすることはありません。

ISO は国際規格を開発しますが、それに対する適合性を評価する制度は運用していません。ISO 9001:2000 や ISO 14001:2004 の登録証は、ISO とは独立に世界の 750 を超える審査登録機関が発行しています。ISO は、これらの審査登録機関やその力量を承認する認定機関に対して、模範的な実施要領を奨励するための任意分野の規格や指針を開発しているのです。

ISO は、そのロゴが許可なく使用された場合、又は改変された場合に適切な処置をとる権利を留保しています。これは認証された組織だけでなく、認定機関や審査登録機関にも、また ISO のマネジメントシステム規格に関する活動に関与するコンサルタントや教育訓練提供者にも適用されます。さらに、出版者や記者が ISO や ISO 規格を扱う記事をハードコピー、電子出版、ウェブサイトなどに掲載するときにも適用されます。ISO のロゴを使用するときは、必ず事前に許可を求めなければなりません。

お忘れなく！

ISO には“ISO 9001:2000 のロゴ”も“ISO 14001:2004 のロゴ”もありません。さらに、ISO のロゴには著作権があり、使用は許されていません。

ISO は、そのロゴの誤使用を防ぐために必要と考えられるどんな処置でもとります。

どんなロゴを使えるのでしょうか？

あなたの組織は認証取得を、例えば、広告、会社情報、会社の旗、保有車両などに使えるようなロゴの形で視覚的に伝えたいと考えられるでしょう。あなたは何ができて何ができないのでしょうか？

認証された組織でも、ISOのロゴを使用したり、改変したりすることはできません。

第一の選択肢は、あなたの組織自体のロゴにISO 9001:2000やISO 14001:2004の認証受けたという情報を組合わせて使うことです。第二の選択肢は、この情報をもつ新しいロゴを作ることです。ただし、どちらの選択肢をとる場合でも、ロゴはISOのロゴと解釈されることがないようにデザインしなければなりません。

第三の選択肢は、あなたの組織を審査しISO 9001:2000やISO 14001:2004の登録証を発行した審査登録機関に対してそのロゴの使用を申請することです。そのロゴはその審査登録機関のものであり、使用するためにはその許可を得て、ロゴの使用に関するどのような指針でも守る必要があります。この場合のメリットとして、その審査登録機関が認定*されていれば、あなたもまたその認定機関のロゴの使用が許される可能性があります。

* “ 認証、審査登録及び認定 ” という見出しの項を参照。

お忘れなく！

ISOのロゴは、使用したり、改変したりできません。あなたの組織の既存のロゴに組合わせて、又は新しいロゴをデザインして認証取得を伝える場合、それらはISOのロゴと間違われる可能性がないようにしなければなりません。また、審査登録機関のロゴを使いたい場合は、その許可を得る必要があります。

正確に！

ISO9000ファミリーに3つの認証規格があった以前は、“ISO9000の認証”という表現法は、ISO9001,9002,9003の1994年版への認証の簡便な表現方法として、しばしば使用されていました。ISO14000ファミリーの中でISO14001:1996は唯一の認証規格であったにもかかわらず、“ISO14000の認証”という表現もまた同じでした。

現在、ISO9000ファミリー及び14000ファミリーそれぞれには、ひとつだけの認証規格があります。ISO9001:2000は1994年版から置き換わり、そして今ISO14001:2004はISO14001:1996から置き換わりました。

旧版と新版のどちらが引用されているかどうか、あいまいさ避けるために、“ISO9000の認証”及び“ISO14000の認証”という表現法の使用は、今や続けることを止めるべきです。同じ理由で、“ISO9001の認証”及び“ISO14001の認証”という表現方法の使用も続けることを止めるべきです。

最新版、改訂版を表現するために今から、“ISO9001:2000の認証”及び“ISO14001:2004の認証”は使用すべきです。

お忘れなく！

“ISO9000,ISO14000,ISO9001及びISO14001の認証”という表現は、もう別の表現へ変更すべき時期です。それぞれの認証規格の最新版について、認証を表現するための正確な唯一の方法は、“ISO9001:2000,14001:2004の認証”です。

認証，登録及び認定



あなたの組織のマネジメントシステムは，独立した機関によって審査され，ISO 9001:2000 又は ISO 14001:2004 に適合していることが確認され，登録証が発行されました。これを公表するときに，どの用語を使ったら正しいでしょうか。“認証”か，“登録”か，“認定”か？

初めの二つをとってみましょう。規格の定義*によれば，それらは完全に同じものではありません。ISO 9001:2000 や ISO 14001:2004 では，

“認証”は，独立した外部機関があなたのマネジメントシステムを審査し，規格に規定された要求事項に適合していることを検証したという文書化された保証（証明書/登録証）を発行することをいいます。また，“登録”は，その審査機関がその認証を依頼組織登録簿に記録することをいいます。

ですから，あなたの組織のマネジメントシステムは，同時に認証も登録もされています。二つの用語には，ISO 9001:2000 及び ISO 14001:2004 の場合，実際上大きな相違はなく，一般的には両方とも使用できます。北米では“登録”（このことから，認証機関と同義で“登録機関”）がよく使われ，これら二つが互換可能なものとして使われますが，世界的には“認証”が最も広く使用されているようです。

逆に，認証や審査登録の代わりに“認定”を使うのは，それが別のものを意味するため間違いです。ISO 9001:2000 や ISO 14001:2004 の場合，認定は，ある審査登録機関が規定の事業分野において ISO 9001:2000 又は ISO 14001:2004 の認証を行う力量をもっていることを専門の機関 認定機関 が公式に承認することをいいます。簡単に言えば，認定は審査登録機関を認証することのようなものです。認定された審査登録機関が発行した証明書は市場で信頼性がより高いとみられます。

* ISO/IEC 17000:2004（適合性評価 - 用語及び一般原則）を参照。

お忘れなく！

あなたの組織が“認証された”と言っても“審査登録された”と言っても，実際上意味は同等であり，構いません。しかし，“認定された”というのは（あなたの組織が認証機関でない限り）不正確です。

わずかな違いが大きな意味をもつ

あなたは“ISOの認証を受けた”と“ISO 9001:2000の認証を受けた”との違い,又は“ISOの認証”と“ISO 14001:2004の認証”との違いがわかるでしょうか?この違いはおそらくごくわずかにみえるでしょう。しかし誤解を招くおそれは非常に大きいのです。

例えば,あなたの組織が認証を記者発表で公表するとき,“ISOの認証”という表現が“ISO 9001:2000(又はISO 14001:2004)の認証”を意味することは,あなたの頭の中では,明白かもしれません。しかし聞き手はどうでしょうか?きっと“ISOの認証”は“ISOが実施した認証”のことだと思ってしまうでしょう。これはISO 9001:2000やISO 14001:2004の登録証を発行したり,それを行う機関を管理したりするのはISOだという,よくある誤解を増大させることとなります。ISOがあなたの組織を審査し認証したという意味にならないよう注意が必要です。ただし,ISO 9001:2000やISO 14001:2004の出典としてISOを引用することは,全く問題ありません。

ISOは,透明性のために,どの審査登録機関があなたの組織に登録証を授与したかを明示することを薦めます。

お忘れなく!

“ISOの認証を受けた”及び“ISOの認証”という用語は,認証を行ったのがISOであるという誤解を招くおそれがあるため,使うべきではありません。代わりに,“ISO 9001:2000の認証を受けた”又は“ISO 9001:2000の認証”,“ISO 14001:2004の認証を受けた”,又は“ISO 14001:2004の認証”などを使います。

製品の規格ではなく,プロセスの規格

ISO 9001:2000及びISO 14001:2004は,どの組織,どの活動分野でも実施されるマネジメントシステムについての包括的な要求事項を述べています。それらは,組織が製品又はサービスを実現するために用いるプロセス,言い換えれば,組織が業務を達成し,顧客の要求事項を満たすための方法に適用されます。ISO 9001:2000は,製品又はサービスの品質に影響するプロセスに適用され,ISO 14001:2004は,組織の環境パフォーマンスに影響するプロセスに適用されます。ISO 9001:2000及びISO 14001:2004は,特定の製品やサービスに対する特定の要求事項を示すものではありません。

したがって,ISO 9001:2000及びISO 14001:2004の認証は,製品の認証又は製品の保証であると解釈されるようないかなる方法であれ提示してはいけません。例えば,ISO 9001:2000が製品の品質を保証するものであるとか,又はISO 14001:2004が“グリーン製品”又は環境的にやさしい製品であることを保証するものである,というように顧客及び消費者を誤解させるようなことがあってはいけません。

“ISO 9001:2000の認証を受けた”,又は“ISO 14001:2004の認証を受けた”などの表現が製品に捺印され,又は製品ラベル,広告,製品に関する他の情報などに記載されていると,このような誤解が生まれる可能性があります。認証されたのは製品ではなく,それを実現したプロセスを対象とするマネジメントシステムですから,これは許されません。

したがって、ISO 9001:2000 及び ISO 14001:2004 への適合を示す認証マークは、製品、製品ラベル、製品包装などの上に、又は製品の適合性を示すと解釈されるようないかなる方法であれ、表示してはなりません。

あなたの組織が認証取得を製品に関連する資料/材料(製品包装、製品ラベル、又は製品自体を除く)によって伝えようとするとき、次のような表現を用いて上記の誤解を避け、正確に伝えるよう特に注意する必要があります。

- “この製品の製造を管理するマネジメントシステムは、ISO 9001:2000 (又は ISO 14001:2004) の認証を受けている”
- “このサービスの提供を管理するマネジメントシステムは、ISO 14001:2004 (又は ISO 9001:2000) の認証を受けている”
- “ISO 9001:2000 の認証を受けた品質マネジメントシステム”, 又は “ISO 14001:2004 の認証を受けた環境マネジメントシステム”
- “ISO 9001:2000 QMS”, 又は “ISO 14001:2004 EMS”
- “ISO 9001:2000 の認証を受けたプロセス”, 又は “ISO 14001:2004 の認証を受けたプロセス”

組織か? システムか?

ISO 9001:2000 や ISO 14001:2004 によって認証されるのは、マネジメントシステムであり、そのシステムを実施する組織ではありません。しかし、マネジメントシステムはそれ単独で存在しているわけではないため、認証されたシステムをもつ組織が、その組織自身が認証されたと記述しても、認証の適用範囲*が明記されていれば、許されます。

したがって、認証された組織は、会社の旗、保有車両の塗装、広告、レターヘッドなどの媒体を通して、ISO 9001:2000 や ISO 14001:2004 の認証を受けたことを宣伝しても構いません。

多数の審査登録機関が、認証した依頼組織に対して、独自に開発したロゴの使用を許可しており、それには“品質が保証された企業”、“品質が保証された”、又はその変化形などの表現が含まれています。これらは、“保証”についての規格の定義、すなわち‘あるものが規定された要求事項を満しているという確信を与えることの表明’から生まれたものであり、そのような使い方は許されず。

* “認証の適用範囲” というタイトルの部を参照。

お忘れなく!

ISO 9001:2000 及び ISO 14001:2004 は、特定の製品やサービスに対する要求事項ではなく、マネジメントシステムに対する一般的な要求事項を示しています。ISO 9001:2000 及び ISO 14001:2004 の認証は、製品の認証でも製品の保証でもありません。したがって広告などの製品関連の情報やその他の媒体で ISO 9001:2000 及び ISO 14001:2004 の認証を

引用する場合には、その表現に十分注意を払い、それらが製品の認証や製品の保証であるという印象を避けます。特に、ISO 9001:2000 及び ISO 14001:2004 への適合を示す認証マークは、製品、製品ラベル、製品包装などの上に、又は製品の適合性を示すと解釈されるようないかなる方法であれ表示しないようにします。

認証の適用範囲

ISO 9001:2000 及び ISO 14001:2004 の認証は、包括的なものではなく具体的なものですので、審査登録機関が発行した、当該規格への適合性を示す登録証は、その対象となった活動の適用範囲（対象範囲）を規定しています。

したがって、あなたの ISO 9001:2000 又は ISO 14001:2004 の認証取得を報道機関用に公表するとき、又は販売促進用資料、製品パンフレット、ウェブサイトなどの媒体で引用するとき、あなたの組織の認証の対象となった活動範囲を明示することが望まれます。

あなたの組織のプロセスの一部だけ、又はその事業体や事業所の一部だけが認証の対象となっている場合、組織全体がそのすべての活動やプロセスについて、又はすべての地理的な所在地について認証されているという印象を与えることによって、人々に誤解を与えることは許されません。

お忘れなく！

ISO 9001:2000 及び ISO 14001:2004 の登録証は、活動の適用範囲に対して発行され、登録証上に明示されます。その認証を公表するときにも、それと全く同様に明示的であることが望まれます。活動又は地理的所在地のいずれであっても、認証の適用範囲（対象範囲）を不正確に表明してはいけません。

ISO

ISO(国際標準化機構) は、品質マネジメントシステム及び環境マネジメントシステム規格に代表される ISO9000 ファミリー及び ISO14000 ファミリーの産みの親であり、企業、政府、社会に対して、14000 以上の規格を提供しています。ISO は、各国の国際対応機関、政府、産業界、企業、消費者代表とパートナーシップを得た 146 の国の標準化機関のネットワークです。

ISO 中央事務局

1, rue de Varembé

Case postale 56

CH -1211 Genève 20

Switzerland

電話 + 41 22 749 01 11

ファックス + 41 22 733 34 30

E-メール central@iso.org

Web www.iso.org



ISBN 92-67-10400-4

©ISO, 2004

スイスで印刷

2004-12